

進路ニュース

平成31年2月4日
鳥取県立白兔養護学校
進路担当

平成30年度 第4号

今回の進路ニュースでは、「鳥取県特別支援学校技能検定」と「はたらく交流～教えて先輩～」についてお知らせします。

鳥取県特別支援学校技能検定

10月4日（木）、5日（金）鳥取県特別支援学校技能検定に本校高等部の1，2年生のシー・リバーコースの生徒12名が参加しました。この検定は、生徒の「働く力」「働く意欲」等の一層の向上を図ることや、清掃や接客の技能を一定の基準により評価し、認定することで企業の雇用促進につなげることを目的としています。清掃部門と喫茶部門での検定が2日間にわたって行われ、それぞれの生徒が緊張した顔で練習の成果を発揮しました。



タオル、ダスタークロス、水拭き用モップ等を使って清掃します。



「ご注文はおきまりですか?」と、二人組のお客様に注文を聞き、サービスをします。

「はたらく交流～教えて先輩～」

本校では、全学部で白兔検定(校内清掃技能検定)に取り組んでいます。そして、その学習時間を利用し、先輩が後輩に白兔検定の実技を披露し、学部を越えて児童生徒が交流する「はたらく交流～教えて先輩～」を行っています。

12月に実施された中学部と小学部との交流では、先輩の真剣に取り組む姿に、小学部の児童からは、「大きな声であいさつができてよかった。」「すみずみまで拭けていた。」「机がピカピカになった。」「ぼくたちも頑張りたい。」といった感想が聞かれました。また、中学部の先輩からは、「ふきんをしっかりと絞る。」「縦横まっすぐに拭く。」などのアドバイスがあり、白兔検定に向けさらに意欲を高めるよい交流となりました。

